



ほほえみ保育園卒園式

3月27日、ほほえみ保育園で平成26年度第7回卒園式が行われました。43名の卒園児は、保育修了証書を手にとり将来の夢を発表しました。佐藤栄起園長は、「小学校に入学したら、いつもにこにこ、みんなと仲良く、元気いっぱい学校に通いましょう」とエールを送りました。



45万尾を放流

3月20日、小国川漁業協同組合が管理する「長者原鮭ふ化場」で鮭の稚魚の放流を行いました。これは昨年秋に遡上してきた鮭から採卵し、この施設でふ化・育成してきたもので、今年は45万尾を放流しました。4年後の秋に大きく成長して舟形町に戻ってくることでしょう。



小学校卒業式

3月18日、舟形小学校で第2回卒業式が行われ、渡辺正校長先生より49名の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。渡辺校長は、「中学校での3年間は、いろんなことを学び続ける3年間にしてほしい。みなさんの活躍を楽しみにしています。」と式辞を述べました。



中学校卒業式

3月16日、舟形中学校で卒業証書授与式が行われ、40名の卒業生一人ひとりに荒井校長から卒業証書が手渡されました。荒井校長は、「これから進む新しい道に踏み出す一歩。決して平らな道だけではないその道でぶつかる色々な壁を乗り越えた時、人は成長します。勇気を持って困難に立ち向かい、自分を磨いていける人になってほしい。」と式辞を述べました。



3年間の集大成

3月17日、保健センターで地域おこし協力隊3名と最上地域雇用創造推進協議会から派遣されている太田和慶さんが、平成26年度の活動報告を行いました。

今年で地域おこし協力隊としての3年の任期を終える飯田雅子隊員は、活動報告の他に舟形に移り住んでからの3年間で印象に残っていることや感じたこと、自分のこれからの進む道などを発表しました。広報ふながた3月号(№673)で紹介しています。



舟形町フォトコンテスト

3月17日、平成26年度舟形フォトコンテストの審査会を行いました。舟形町の豊かな自然や歴史、文化など舟形町の魅力を写真で表現するこのコンテストには、文化、生活、風景などをテーマに22点の素敵な作品の応募がありました。その中から、グランプリ1点と優秀賞など6点の入賞作品が選ばれました。

入賞作品は、町ホームページでご覧いただけます。

【グランプリ】タイトル「やんまい送り」 佐々木 茂さん
(秋田県大仙市)



ヨガで健康的な生活を

3月13日、中央公民館でヨガインストラクターの安彦静香さん(木友)を講師に迎え、ヨガ教室が行われました。夜と昼の部に参加した計24名は、呼吸法を意識しながら行うストレッチを学びました。参加者の一人は「毎日続けて、健康的な生活を送っていきたい。」と話してくれました。



ふれあい卓球大会

3月8日、生涯学習センターで「東部地区ふれあい卓球大会」が行われ、小学5年生から87歳の方まで38名が参加しました。

真剣ながらも和気あいあい、笑顔いっぱいのお大会となりました。

Old Kyu News(平成27年3月)



子どもたちの安全を願って

3月6日、舟形ほほえみ保育園でかもしかクラブ修了式が行われ、かもしかクラブリーダーの木島真紀さんから修了証が一人ひとりに手渡されました。

園児たちは、このクラブで教わった交通ルールや、家の周りで遊ぶ時の約束ごとなどをおさらいしました。



監査報告書を提出

3月5日、舟形町監査委員が奥山町長に監査報告書を提出しました。これは、平成26年度に行なった町の事業について、お金の使い方が会計基準などに準拠し、正しく使われているかどうか監査した結果をまとめたものです。

Old Kyu News(平成27年2月)



数え100歳をお祝いして

2月25日、1月に数え年で100歳を迎えた小関ヤスエさん(長者原)に、奥山知雄町長から賀詞とお祝いの品が贈られました。現在、特別養護老人ホームえんじゅ荘で元気に毎日をお過ごしの小関さん。和菓子などの甘いものや鮎の塩焼きが大好きということで、長寿の秘訣は若い時から良く体を動かし、なんでも食べることだそうです。ますますのご長寿をお祈りします。



富長地区地域づくり研修会

2月22日、富田公民館で富長地区地域づくり研修会が行われました。富長地区町内会の老人クラブ、婦人会、若妻会、消防団、子ども会などから48名が参加。東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科の丸山 傑 氏を講師に迎え「人と人をつなぐデザイン」をテーマにした先進地事例を学びました。参加者は、それぞれの立場で考える地域の課題などを出し合い、みんなで話し合いました。



第18回舟形町ラージボール卓球大会

2月22日、生涯学習センターで第18回舟形町ラージボール卓球大会が行われました。試合は、実力ごとに分けられるクラス毎のトーナメントにより行われ、長く続くラリーにも集中力を切らすことなく、白熱した戦いが繰り広げられました。

日頃の練習の成果を如何なく発揮できる大会となったようでした。



恋活バスツアー

2月21日、舟形町結婚サポートセンターと尾花沢市結婚促進協議会「LaLaネット」が合同で企画した、恋活バスツアー「山形R13 over the baybridge 女神の宴」を開催しました。独身の男女41名が参加し、舟形町でタラの芽摘み、尾花沢市で銀山温泉を散策、東根温泉でパーティといった行程をバスで巡りました。

移動中も気になる人と会話をしたりなど、素敵な出会いがたくさんあったバスツアーとなったようで、6組のカップルが誕生しました。



冬季自然体験～長沢子ども遊々塾～

2月21日、生涯学習センターで長沢親和会のみなさんからの指導のもと、長沢子ども遊々塾「冬季自然体験学習」が行われました。長沢地区の児童らが参加し、肥料袋と段ボールで手作りした「ソリ」やタイヤチューブを使っの「そり遊び」を楽しみました。また、子どもたちは、舟形の生活体験をするために訪れた東北福祉大学の学生ともふれ合いました。

お昼には、長沢地区婦人会のみなさんが振る舞ってくれた豚汁で、心も体も温まりました。



平成26年度教育功労者表彰

2月16日、平成26年度の教育功労者表彰式が舟形町中央公民館で行われ、受賞者に太田二三男教育委員長から表彰状が手渡されました。

この表彰は、町の教育・芸術・文化の向上と発展に貢献された方を対象に贈られるもので、今年度は、22名の個人と5団体が受賞されました。



もっと「縄文の女神」が好きになる

2月14日、考古学者の小林達雄氏による講演会が中央公民館で開催されました。「縄文の女神」は「ミロのヴィーナス」に匹敵するほど世界的にも価値があることや、このような優れた土偶を所有していた縄文人が暮らしていた西ノ前遺跡には、南東北地方の有力な長がいたのではないかという興味深いお話がありました。

90名を超える参加者のみなさんは、ますます「縄文の女神」に惹かれているようでした。



町民の声を聴く

2月12～13日、町内4会場で議会報告会が開催されました。この報告会は、議会の活動と町政に関する情報提供を行い、議会活動に対する声を直接お聴きし、今後の議会の活性化に努めようと開催しているもので、今年で6回目となります。



男女共同参画を推進

2月12日、中央公民館で舟形町男女共同参画講演会を開催し、50名が参加。山形県男女共同参画センター館長の高木直氏を講師に迎え、「地域から男女共同参画をすすめよう」と題した講演を伺い、男女共同参画について理解を深めました。



先を読む！

2月11日、恒例の舟形町囲碁・将棋大会が中央公民館で開催され、囲碁の部に48名、将棋の部に27名が参加しました。囲碁・将棋の部とも、実力に応じたブロックに分かれて、相手の先を読みあう白熱した戦いを繰り広げていました。

また、2回目の開催となる少年少女オセロ大会も開催され、小学生以下の子どもたち15名が参加しました。



不安を解消！

2月6日、新入生説明会が舟形中学校で行われ、4月から入学予定の49名が、中学校生活についての説明を受けました。説明会の後には、現1年生と一緒に校歌を練習したり、手作りの中学校生活カルタで交流を図りました。



小学校一日体験入学

2月4日、4月から入学予定の親子44組を対象にした1日体験入学が舟形小学校で行われました。現1年生による学校紹介で、学校で教わることや楽しいところなどを聞いた園児の一人は、「学校に来るのが楽しみです。」と話してくれました。



男性のための料理教室

2月4日、男性のための料理教室を保健センターで行い、男性10名が参加しました。最上地域雇用創造推進協議会から2名の講師を迎え、食生活改善推進員のみなさんと一緒に、米粉を使ったデザート作りに挑戦しました。



鬼は一外っ！

2月3日、子育て支援センター「みらい」でふれあい育児の広場を行いました。参加した親子など15組31名は、節分にちなんで鬼の面や手さげバッグの制作とボールを豆に見立てた豆まきをして、悪い鬼を追い払いました。



鬼を追い出そう！

2月3日、舟形ほほえみ保育園で節分の日にちなんだ「豆まき」が行われました。

お遊戯室には、自分たちで制作したお面をつけた鬼役の園児たちと豆をまく福男役の園児たちが集合。「鬼は外、福は内。」の掛け声とともに、園児は自分たちの中にすんでいる「泣き虫」鬼や「いじわる」鬼などを退治し、元気に過ごせるように福を招き入れました。



校内スキー大会

2月1日、舟形小学校で第2回校内スキー大会が開催されました。この日は、あいにくの猛吹雪。児童たちは地域の方からのたくさんの応援を力に、悪天候にも負けず、起伏のあるコースを自己記録更新を目指して力走しました。



東北福祉大生が除雪ボランティア

1月17～18日、東北福祉大学交流連携事業で同大学のハンドボール部の男女4名が来町し、除雪作業等のボランティアを行いました。普段、雪かきをしないという学生たちですが、除雪作業講習会を受けた後、幅地区の高齢者宅玄関先を手際良く除雪していました。

また、高校生ボランティアふなっ子や地域の方々との交流会では、雪国で生活する人たちの「冬の暮らし」に触れました。



体力の限界に挑戦

1月18日、B&G海洋センターで第28回新春町民なわとび大会が開催されました。冬期間の運動不足の解消と仲間づくりのために参加した29チーム397名が、各々のチームで息を合わせてジャンプ。清々しい汗を流しました。



減塩で健康生活を

1月16日、生涯学習センターで舟形町食生活改善推進協議会が「減塩・高血圧予防教室」を開催しました。脳卒中や心疾患など重大な病気につながる恐れのある高血圧は、塩分摂取濃度と深い関わりがあることから、減塩することの大切さを参加者に伝えていました。



五穀豊穡を祈願

1月9日、舟形ほほえみ保育園で、水木団子飾りが行われました。これは、五穀豊穡を祈る小正月の伝統行事を子どもたちからも体験してもらおうと、舟形町老人クラブ連合会(会長 大場和夫さん)が毎年開催しているものです。園児たちは、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に、楽しく水木に団子を飾り付けました。



無病息災を祈願

1月7日、八幡神社の境内で「御柴灯」が行われました。各家庭から持ち寄られた古いお札やお守りなどを、わらが巻かれた木と一緒に燃やし、今年1年の無病息災を祈願しました。「御柴灯」は年末からこの時期にかけ、各地区で行われている伝統行事です。



豪雪対策本部設置

1月5日、昨年末の大寒波襲来や毎日の降雪により、町内における積雪深が150cmに達し、今後も引き続きまとまった降雪が予想されることから、町民の安全を確保するため「舟形町豪雪対策本部(本部長 奥山知雄町長)」を2年ぶりに設置しました。今後は、積雪、降雪などの情報収集を強化し、除排雪作業をする際の安全指導や農業施設等の被害防止対策、高齢者世帯などの雪害防止対策等を講じていきます。



舟形町消防団が無事故・無火災を祈願

1月5日、毎年恒例の舟形町消防団の安全祈願祭が中央公民館で行われ、今年一年の無事故・無火災を祈願しました。その後に行われた出初式では、加藤憲彦団長、奥山知雄町長のあいさつの後、舟形本町通りで分列行進と祝賀放水を行いました。



舟形の特産品をトライアル販売

銀座にある山形県のアンテナショップ「おいしい山形プラザ」で、舟形町農産物処理加工施設が製造・加工している鮎の加工品などと、山ぶどうの会が舟形で育てた山ぶどうで作った山ぶどうビネガージュースなどが、期間限定で販売されています。

これは、山形県が実施する「トライアル販売」を活用したもので、期間は1月2日～3月31日までです。4月以降の販売につなげられるよう、首都圏へのPRを行なっていきます。



「水曜会」が町福祉協議会に寄付金

12月22日、県民ゴルフ場で毎月第2火曜日(愛好会発足当時は水曜日)に、ゴルフ技術の向上と健康増進を目的に活動しているゴルフ愛好会「水曜会」(代表 柿崎秀治さん)が、町の福祉に役立ててほしいと舟形町社会福祉協議会に5万円を寄付しました。



結成30周年を迎えました！

12月21日、コールせせらぎ(代表 星川多喜子さん)の結成30周年を記念した演奏会が、中央公民館で行われました。この会は、当時舟形中学校に赴任していた佐藤栄起さんらによって、文化祭で初めて合唱コンクールを開催する際に、PTAも参加しようと集ったのがきっかけで発足された歴史のある会です。

この日は、「いい日旅立ち」「川の流れるように」など計10曲を披露。会場は美しいハーモニーに包まれ、観客のみなさんから大きな拍手が送られていました。



手先を器用に使って

12月20日、少年少女手作りおもちゃ教室が中央公民館で開催されました。この日は、段ボールと色とりどりの折り紙などを使ってクリスマスツリー作りをしました。参加者の一人は、「今年のクリスマスは、自分で作ったツリーでお祝いするのが楽しみです。」と話してくれました。



雪見読書会

12月20日、舟形小学校の図書館で「冬の雪見読書会」が行われました。今回は、舟形小学校の母親委員会のみなさんと、高校生ボランティアふなっ子による巨大絵本の読み聞かせや、冬休みに向けて「おすすめの本」の紹介もあり、参加したみなさんは親子での読書などを楽しみました。



世界に一つのしめ飾り

12月19日から町内4会場で町の伝統文化の継承を目的とした、しめ飾り作り講習会が行われました。しめ縄から飾り付けまですべて自分で作製し、世界に一つだけのしめ飾りを完成させました。

紫山会場に参加した大場義次さんは「今回で2回目の参加です。昨年よりも上手にできました。人それぞれ個性のあるしめ飾りで新年を迎えられそうです。」と感想を話してくれました。



舟形町学芸員を委嘱

12月16日、町の産業経済振興戦略監としてご活躍いただいている野村知義さん(東京都)を、舟形町学芸員に委嘱しました。野村さんは、町が12月に設置した「国宝縄文の女神活用検討委員会」の事務局として、政策の提案・検討を行なっています。



堀田力講演会

12月13日、舟形小学校で堀田力氏の講演会が開催されました。これは「山形学」地域連携講座とタイアップし、舟形大人塾パートⅢとシニア元気塾の閉講記念講演として行われたもので、町内外から約160名が参加しました。



ほほえみ保育園発表会

12月13日、舟形ほほえみ保育園発表会が開催されました。園児たちは、保育士さんらが手作りした華やかな衣装で、一生懸命練習した歌やダンスなどを大勢の観客のまで披露。大きな声援とたくさんの拍手が送られていました。



飲酒運転撲滅を願って

12月8～17日までの冬の交通安全県民運動期間に合わせ、交通安全出発式を行いました。その後、町内の学校や飲食店などを回り、御祈禱を受けた交通安全母の会のみなさん手づくりの地蔵人形を配り、冬の交通安全と飲酒運転撲滅を呼びかけました。



地域の安全を守るために

12月7日、舟形町消防団が冬季消防ポンプ性能検査を行いました。これは、いつ起きるかわからない火災などの災害に備え、各分団で管理している消防設備が常に使用できる状態を保てるように、毎年この時期の行なっているものです。



「もったいないばあさん」のおはなし会

12月7日、「もったいないばあさん」などでお馴染みの絵本作家の真珠まりこさんをお迎えし、絵本作家講演会「もったいないばあさんのおはなし会」が中央公民館で開催されました。読み聞かせや絵本に興味のある親子など約100名が参加し、絵本の読み聞かせやもったいないばあさんの絵かき歌などを取り入れたお話に聞き入っていました。

また、サイン会も行われ、笑顔いっぱいの講演会となりました。



舟形駅に新しい「舟形の味」が登場

12月5日、舟形町観光物産センターめがみ内に「駅食堂女神」がオープン。連日たくさんのお客さんが訪れ大好評です。メニューは15種類と豊富で値段も500～700円とリーズナブル。ランチには煎り立てのコーヒーとケーキが付きます。

ぜひ、みなさんも足をお運びいただき、舟形の新しい味をご賞味ください。

Old Kyu News(平成26年12月)



英語で読み聞かせ

12月5日、舟形小学校で英語教育の第一人者の阿部フォード恵子先生を迎え、英語の授業が行われました。この日は舟形小学校の1年生が「三匹の子ブタ」の紙芝居を、ジェスチャーを交え英語で読み聞かせをしてもらい、楽しく英語に触れました。



白の景色

12月2日、冬の到来を告げる空からの贈り物「雪」が降ってきました。今年の初雪は、例年と比べ少し遅い降雪となりました。雪は、おいしいお米を作るための大切な水に変わり農家に恵みを与えますが、反面、除雪や雪降ろしなど対応に追われます。

今年は、どのくらい降るのでしょうか…。多いのか少ないのか、とても気になるところです。

Old Kyu News(平成26年11月)



町福祉のために

11月25日、舟形町ゴルフ協会(会長 伊藤和昭さん)が舟形町社会福祉協議会に30,000円を寄付しました。これは、町福祉活動に貢献しようと、9月に開催された第10回町民ゴルフ大会で参加者から募ったものです。



まちづくり意見交換会

11月25日、福寿野町内会でまちづくり意見交換会を開催しました。これは、地域発展のためにみなさんと知恵を出し合おうと毎年開催しているもので、この日は福寿野町内会のみなさん約30名と町長、教育長や課長等が参加。「富長交流センターの利活用について」と「人口を増やすためにどうすればいいか」の二つのテーマをもとに意見を交換しました。

なお、この今年希望する町内会で開催し、10月28日には西又町内会で開催しました。



体にやさしい「有機EL」照明

11月21日、舟形町役場窓口記載台に有機EL照明を設置しました。これは有機EL普及推進を図るため、補助を受けて市町村で実施しているものです。面発光で紫外線を含まない特徴を持つ有機EL。柔らかな光で記載しやすくなりました。



高齢者フェスティバル

11月21日、舟形町老人クラブ連合会(会長 大場和夫さん)が主催する高齢者フェスティバルが中央公民館で行われ、約200名が参加しました。表彰式終了後に、会員らによる歌や踊りなどが披露され、観客から大きな拍手が送られていました。



冬の雪道の安全を祈願

11月17日、町道の除雪作業の安全と事故防止を願う安全祈願祭を十二河原河川公園で行いました。大型のロータリ除雪車や除雪ドーザなど合わせて13台がずらりと並ぶ中、町関係者や運転手ら約30名が参加し、安全を祈願しました。



B&G会長杯～その2～

11月15日、B&G会長杯争奪大会バレーボール大会がB&G海洋センターで開催されました。最上地区から参加した計4チームが会長杯を目指し、熱戦を繰り広げた結果、舟形クローバースが3戦全勝で見事優勝しました。



カーブミラーで事故のない町に

11月14日、全国共済農業協同組合連合会山形県支部からカーブミラーを町に寄贈していただきました。同支部では、町の交通安全に役立ててほしいと毎年贈っているもので、町内各地の危険な個所に設置される予定です。交通安全のため、大切に使用させていただきます。



家族新聞コンクール

11月13日、第10回ふながた家族新聞コンクールの表彰式が舟形町中央公民館で行われました。家族の絆づくりと考え表現する力を身に付けてもらおうと町教育委員会と山形新聞社、山形新聞舟形専売所が毎年開催しているものです。舟形小学校の4年生以上の児童と家族が、学年ごとに決められたテーマで新聞を制作。その中から選ばれた優秀賞6名、特別賞20名に、山形新聞社新庄支局長より賞状とトロフィーなどが手渡されました。



脂肪燃焼効率をアップ

11月6日、舟形町教育委員会による健康ウォーキング教室が開催されました。ウォーキングに関心のある町民の方など13名の方が参加し、歩幅や心拍数などに注意しながら、脂肪を効率よく燃焼させるための歩き方を学びました。参加者の一人は、「みんなでやるウォーキングはとても楽しい。心拍数を平常時より30程上げるウォーキングで体重管理していきたい。」と話してくれました。



芸術の秋

11月3日、舟形町中央公民館を会場に舟形町芸能フェスティバルを開催しました。披露された踊り、歌、詩吟、三味線などに約250名の観客から大きな拍手が送られました。

また、11月7日～15日の9日間、同会場にて舟形町総合文化展が開催され、手芸品や絵画など作品1,022点が展示され、訪れた方々を魅了しました。



B&G会長杯～その1～

11月2日、B&G会長杯争奪大会野球大会が舟形中学校グラウンドと農村環境改善センターグラウンドで開催され、最上地区内から6チームを招待して計7チームにより、熱い戦いを繰り広げました。Aブロックでは舟形ビッグサンダーズが優勝。悲願の会長杯を手に入れました。



町制施行60周年記念式典

11月1日、舟形町町制施行60周年記念式典を舟形小学校体育館で、執り行いました。昭和29年12月1日、舟形村と堀内村が合併し誕生した舟形町。これまでの町の発展に貢献された方々など298名の出席のもと、60年の「還暦」となる節目となる年をお祝いしました。



めがみDreamフェスタ

10月26日、舟形小学校で「めがみDreamフェスタ」学習発表会が行われ、合唱や劇など迫真の演技や歌声に、観客から大きな拍手が送られました。また、多目的教室には、児童たちが製作した作品が展示され、日頃の学習の成果をみてもらいました。



秋の味覚を堪能

10月26日、舟形観光協会ともがみ南部商工会などが第4回ふながた新そばまつりを富長地区交流センターで開催しました。来場した240名の方は、蕎麦会の方が打った香り豊かな新そばや、この日落成式を迎えた農林水産物処理加工施設で作られた「鮎のオリーブ漬け」などの新しい舟形の味覚に、舌鼓を打ちました。



gout! FUNAGATA(ぐっと！ ふながた)

10月26日、舟形町の農産物を新鮮なうちに加工し、付加価値を高めるための農林水産物加工施設が富長地区交流センターに完成し、その落成式を行いました。式には町長をはじめ、町議会議員や伊藤重成県議会議員、富長地区の町内会の代表の方などが参列され、神事を執り行いました。

また、新しい舟形町の味の開発に取り組んでいただいたフードプロデューサーの多田鐸介シェフから新メニューを紹介していただいた後、出席者に「鮎のオリーブ漬け」などが振る舞われました。

この加工施設で作られる「gout!FUNAGATA」というブランドの加工品は、舟形若あゆ温泉のほか、舟形町観光物産センターめがみでも販売される予定です。



災害から住民を守る

10月25日、舟形町総合防災訓練が太折地区を会場に行われました。今回の訓練は、強い地震による火災の発生を想定としたもので、情報の伝達や消防ポンプ車の出動、正確かつ迅速な操法、地区住民の避難誘導訓練、消火器を使用したの初期消火訓練などを行いました。

この地区は、日頃から自主防災組織の活動を積極的に行なっている地域で、住民の方々の防災意識も高く、当日も統制のとれた訓練を披露しました。



舟友祭「咲」

10月25日、舟形中学校で舟友祭が行われました。「咲～今花開く僕等のハーモニー～」をテーマに合唱発表会や3年生による創作ダンスの発表が行われ、会場は生徒たちの美しいハーモニーと熱気に包まれました。

また、中庭では、山形大学の学生たちが山形名物「芋煮」を400名分作り、訪れた観客の方々に振る舞いました。これは、食育から農業を考える「里地里山の再生プログラム」の一環のフィールドワークとして行われたものです。



鮭の強い“引き”を堪能

今年も小国川に鮭が遡上してきました。小国川漁業協同組合(組合長 高橋光明さん)では、舟形町富田地区にある小国川(最上川合流点から上流800m地点)で川幅いっぱいの“止め”を作り、「ウライ」と呼ばれる仕掛けで鮭を捕獲。捕まえた鮭から採卵・受精させ、来年の春に稚魚を放流する取り組みを行なっています。

また、10月18日～11月9日まで間、有効利用釣獲調査として「鮭釣り」をすることもできます。この日は、11名の釣り人が挑戦。多い方で5匹を釣り上げた方や、85cm6.5kgの大型を釣り上げた方もおり、10分を超えるファイトに、鮭の強い引きを堪能していました。

なお、希望される方は事前に申込みが必要です。



竣工後の建物の安全を祈願

10月24日、舟形ほほえみ保育園の西側に建設する「子育て支援住宅」の上棟式を行い、町長をはじめ、町議会の議員のみなさんが参加。屋上に設けられた祭壇で祭祀を執り行いました。その後、厄災を避けるために行われる「餅まき」に、ほほえみ保育園の年長さんたちをご招待。園児たちは、屋根の上から撒かれる餅などに大喜び。両手に持ち切れないほど拾っていました。



県民ゴルフ場チャリティ募金

10月21日、県民ゴルフ場(支配人 大場武志さん)から、チャリティ募金によって集まった65,000円を町に寄附いただきました。これは10月13日に行われた開場記念の企画に参加した130名からご協力いただいたものです。



感謝と誓い

10月19日、成人の半分の年齢10歳を迎えたことを記念する1/2成人式が、舟形小学校4年生の学年行事として舟形小学校体育館で行われました。式の中で、子どもたちは、今まで育ててくれた親への感謝の言葉と、将来の夢を発表。保護者からは1/2成人証書が手渡されました。



舟中野球部が北ブロックの頂点に

10月18日、山形県中学校新人体育大会北ブロック大会が開催されました。大蔵村野球場を会場に行われた軟式野球には、北村山・酒田・鶴岡・新庄地区を勝ち抜いた代表4チームが出場し、優勝目指して熱い戦いを繰り広げました。新庄地区代表として出場した舟形中学校野球部は、準決勝、決勝と1点を争う試合を制し、見事北ブロック大会優勝を果たしました。舟形中学校野球部の目標は、県制覇。これからの活躍に期待します。

なお、ソフトテニス、陸上、卓球、柔道にも出場し、柔道女子の沼澤真緒さんが個人ベスト8に輝きました。



舟形マッシュルームシチュー

10月16日、舟形小学校でマッシュルームがふんだんに使われた給食が提供されました。これは、舟形町長沢(経壇原)に会社がある「(有)舟形マッシュルーム」(社長 長澤光芳さん)が、地元で作ったマッシュルームを舟形の子もたちからも食べてもらいたいと無償で提供してくれたものです。児童たちは、マッシュルームシチューをおいしそうに平らげていました。



スポーツの秋

10月12日、第22回舟形町スポーツフェスティバルが、全9種目に町民のみなさんからエントリーいただき、盛大に行われました。舟形中学校グラウンドでの開会式の後、選手たちは種目ごとに競技会場に分かれて、気持ちの良い汗を流し、交流を深めました。



上手にごっくん、できました♪

10月9日、保健センターで乳児相談を開催し、生後5～8か月のお子さんとお母さん方5組が参加しました。参加者は、保健師から離乳食の進め方を教わり、栄養士からはその月齢に合った調理方法を実際に調理しながら学びました。



市町村親善ゴルフ大会

10月5日、市町村親善ゴルフ大会が県民ゴルフ場で開催され、最上地区のゴルファー82名が参加し、熱い戦いを繰り広げました。舟形町からは一般の部、シニア・レディースの部に18名がエントリー。その部門の上位10名の平均で競われる市町村対抗の部で5位の成績を収めました。



お見合い大作戦！！

10月4～5日、舟形町の独身男性を取り巻く「結婚」についての厳しい現状の解消を目指し、フナコン実行委員会(会長 佐藤広幸さん)と舟形町結婚サポートセンターが企画した「ふながたプロデュース 舟形の花嫁お見合い大作戦！」を開催。舟形の独身男性22名が全国各地から集まった本気で結婚したい10名の女性とお見合いをしました。

詳しくは、広報ふながた10月号№668をご覧ください。



秋の恵みに感謝！

10月2日、ほほえみ保育園の年長児全員が、園の裏にある畑で、さつまいも掘りを行いました。掘り出されたさつまいもはどれも自分たちの顔より大きいものばかりで、みんな大喜び。収穫したさつまいもは、焼きいもにして園児全員に振る舞われました。

Old Kyu News(平成26年10月)



新教育委員に高橋純康氏が就任

10月1日付で、高橋純康さん(富田第2)(右)が舟形町教育委員に任命されました。任期は4年間です。また、同日同委員が改選され教育委員会委員長には太田二三男さん(舟形第4)(中)が再任し、職務代理者には木島広人さん(洲崎)(左)が就任されました。よろしくお願いします。

Old Kyu News(平成26年9月)



定泉寺演奏会

9月27日、定泉寺の本堂でサックスやギター、ピアノの生バンドによる音楽会が開かれました。昨年の紅白歌合戦に出場した「あまちゃんスペシャルビッグバンド」のメンバーらが出演。お寺の荘厳な雰囲気の中で聴く一流の演奏に、来場した160名は楽しいひと時を過ごしました。



「新人」の前途を祝し激励

9月25日、27日から始まる最上地区中学校新人体育大会に出場する選手たちを激励する壮行式が、舟形中学校体育館で行われました。部活動ごとにステージ上に並んだ選手は、一人ひとり、大会に向けての抱負を発表しました。また、応援団からは、初めての公式戦ということで緊張している後輩たちに、熱い想いのこもったエールが送られました。



天然鮎が給食に！

9月25日、舟形小・中学校の給食に、清流小国川で獲れた鮎が提供されました。

これは、小国川漁業協同組合(組合長 高橋光明さん)より「舟形の子どもたちをはじめとするたくさんの方々に、香り豊かな地元の鮎を食べて欲しい」と小国川で開催された鮎釣り大会で釣りあげた鮎を、町教育委員会や町内福祉施設に寄付されたものです。

生徒たちは、南蛮味噌で味付けされた鮎をおいしそうに頬張っていました。



秋の収穫“稲刈り”を体験

9月25日、仙台市立五橋中学校2年生の代表16名が、稲刈り体験を行うために舟形町を訪れました。

あいにくの雨模様の中、生徒たちは初めて手にする稲刈り鎌の使い方に戸惑いながらも、黄金色に実った稲穂を元気に収穫しました。刈りとった稲を自然乾燥させる「杭掛け」にも挑戦しました。

今回の体験は、5月14日に野外活動で田植え体験をした福寿野地区学習田で行われ、管理して下さった奥山政憲さんや地域のみなさんからの指導を受けて実施されました。



よ〜い どんっ

9月20日、舟形小学校グラウンドでほほえみ保育園運動会が行われました。秋晴れの下、園児たちによる子宝太鼓の演奏と妖怪ウォッチのテーマ曲「ようかい第1体操」の元気いっぱいでの踊りで始まった運動会。徒競争や親子競技などでがんばる園児たちに、駆けつけた家族の方から大きな声援が送られていました。



舟形町敬老祝賀式

9月19日、中央公民館で舟形町敬老祝賀式を行いました。式典では、金婚式を迎えた9組のご夫婦と喜寿の方30名に、奥山知雄町長から永年にわたり町の発展に尽力されたことへの感謝と祝福の言葉が贈られました。これからもみなさんの健康をお祈りいたします。

【今年の長寿者】

最高齢 東海林サツヨさん(洲崎) 数え104歳
白寿(数え99歳) 2名
米寿(数え88歳) 70名
喜寿(数え77歳) 69名
金婚夫婦 12組



秋の交通安全県民運動

9月19日、舟形町役場前駐車場で秋の交通安全県民運動出発式が行われました。出発式には舟形町交通安全対策推進協議会と最上地区交通安全協会舟形支部のみなさんが参加し、運動の基本と重点を確認しました。

出発式終了後に行われたキャラバンで、町内の学校や酒類取扱店などを回り、交通安全啓発チラシを配布。交通安全を呼びかけました。

◎運動の基本・・・子どもと高齢者の交通事故防止
(運動の重点)

1. 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
2. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
3. 飲酒運転の根絶
4. 道路横断時・交差点における交通事故防止



長寿と健康をお祝い

9月15日、木友公民館で木友町内会の敬老会が行われました。これは、木友町内会が地区内で暮らす70歳以上の方を招待し、健康と長寿をお祝いするために企画したものです。参加した23名は、カラオケや踊りを楽しみ、楽しい時間を過ごしました。



第34回ふながた若鮎まつり

9月13～14日、アユパークを会場に町制施行60周年記念事業と山形DCの最終日を飾るイベント「第34回ふながた若鮎まつり」を開催し、過去最高の約29,000人のお客様が来場されました。舟形町の美味しいものを取り揃えた13の店舗が軒を連ねた「舟形町物産市」では、訪れた方々が舟形町の秋の味覚に舌鼓を打っていました。なかでも、一匹250円の特別価格で提供された焼き鮎は約20,000匹を販売するなど大盛況。子ども鮎つかみどりや山川豊さんのステージショーなど、笑顔あふれる元気いっぱいのまつりとなりました。



Tシャツ議会で若鮎まつりをPR

9月定例議会で、10名の町議会議員と町長をはじめとする職員全員が若鮎まつりTシャツを着用し、9月10日の決算審査特別委員会に臨みました。これは、9月13～14日に開催された「第34回ふながた若鮎まつり」を議員のみなさんからもPRしてもらおうと、このまつりを主管している産業振興課が提案したものです。



第10回町民ゴルフ大会

9月7日、第10回町民ゴルフ大会が県民ゴルフ場で行われました。参加した町民39名は、起伏があり戦略性に富んだコースを果敢に攻め、優勝目指してプレーしました。また、この大会はチャリティコンペも兼ねており、集まった募金30,000円を舟形町社会福祉協議会へ寄付しました。



元気はつらつプレー

9月6～7日、野球スポーツ少年団舟形ビッグサンダーズが酒田市営光ヶ丘球場で行われた第20回マクドナルドカップ山形県学童軟式野球大会兼第12回東北学童軟式野球新人大会山形県予選会に、最北地区代表として出場しました。元気いっぱい、はつらつとしたプレーで見事第3位に輝きました。



大人も変われば子どもも変わる

9月2日、町青少年育成町民会議及び町PTA連絡協議会合同研修会が中央公民館で開催され、60名が参加しました。元舟形中学校校長で最北地区吹奏楽連盟会長の曾野部昭彦氏の「かわりの中で ～母の力～」と題した講演では、自らの子育ての体験談を交えながら、家庭教育の在り方についてお話をいただきました。

また、「花いっぱい運動コンクール」の表彰式も行われました。成績は次のとおりです。

【優秀賞】 幅町内会

【優良賞】 経壇原町内会・新堀町内会



大人塾パートⅢ「他文化に触れる」

8月30日、舟形大人塾パートⅢの視察研修が行われ、塾生18名が参加しました。紅花資料館(河北町)や天童市の千布公民館と御苦楽園を視察。他市町村の文化などに触れるとともに参加者同士のつながりが深まり、充実した研修となりました。



のこった! のこった!

8月29日、舟形小学校相撲場で1~3年生による第2回校内相撲大会が行われました。児童たちは学年・学級ごとの個人戦の勝敗による学級対抗で競い合いました。また、3年生による抜き相撲では、3人抜きを目指して熱い戦いを繰り広げました。

会場には、家族やほほえみ保育園の園児など大勢の観客が応援に駆けつけ、小さな力士たちに大きな声援を送りました。



生きがい作り「シニア元気塾」

8月29日、中央公民館で65歳以上の方を対象としたシニア元気塾が開催され、町内に住む50名が参加しました。この講座は、舟形町中央公民館や老人クラブを中心として立ち上げられたシニア元気塾実行委員会が企画・開催するものです。

年間7回開かれる予定のこの塾では、高齢者の生きがいづくりのヒントとなる講話のほか、子どもたちとの交流やしめ飾り作りなどを通しての文化伝承も計画しています。



小さな力士たちの“力くらべ”

8月24日、奉納さばね山相撲大会が猿羽根山相撲場で開かれ、舟形小学校の4~6年生男女合わせて141名が熱戦を繰り広げました。この大会は猿羽根山地蔵尊に奉納する伝統行事で、約300年前に力自慢の男たちが相撲を取ったことが始まりとされています。

今回は舟形小学校の校内相撲大会として行う第2回大会。男子児童は「北の湖杯」、女子児童は「女神杯」を目指し、力の限りを出し合いました。

また、各学年の男子児童による「抜き相撲」も行われ、3人抜きを達成した児童には、猿羽根山地蔵尊のお守りと竹などで作られた御幣(梵天)が贈られました。



舟形の自然を満喫

8月23～24日、東京都港区立三光小学校の児童34名と引率者34名が今年も舟形町を訪れました。

1日目は薬師の森(松橋)でブナ林トレッキングを行い、マザーツリーと呼ばれている大木の下で山菜汁が振る舞われ、大自然の中での昼食を楽しみました。2日目には畑仕事などの農作業体験や川遊びを行い、舟形の夏を満喫していました。



第96回 全国高校野球選手権大会(甲子園)

庄司秀幸監督(太折出身)が指揮をとる山形県立山形中央高等学校が、甲子園球場(兵庫県西宮市)で行われている第96回全国高校野球選手権大会に出場し、プレーだけでなく、球場内外においての礼儀・マナーでも、全国の高校野球ファンを魅了しています。

大会4日目(14日)に初戦をむかえた小松(愛媛)戦では、最終回の9回表に4点を奪い、9-8と逆転に成功。勝利を収めました。大会9日目(19日)の2回戦では、東海大四(北海道)と激突。延長10回表に先制した2点のリードを守り切り2-0と投手戦を制し、山形県勢初となる公立高校夏の甲子園ベスト16入りを果たしました。大会11日目(21日)に、健大高崎(群馬)とベスト8をかけて対戦します。

「がんばれ！庄司監督。がんばれ！山形中央高校ナイン。」

町民みんなで応援しています。



二十歳の誓いを胸に

8月14日、舟形町の新成人62名の成人を祝う式典「成人式」が、母校舟形中学校の体育館を会場に開催されました。会場には50名の新成人が集い、久しぶりに再会した恩師や友人らとの写真撮影や思い出話に花を咲かせました。

式典では、町長からの祝辞や恩師からのお祝いのメッセージの他、小学6年生の時に書いた家族新聞(山形新聞舟形専売所主催)が参加者全員に返還され、それを見ながら当手を振り返り、懐かしんだり和やかに行われました。

広報ふながた8月号p2-3



「ホーツ ホツ ホツ」堀内盆踊り大会

8月13日、堀内連合町内会や堀内田植え踊り保存会などで構成している堀内伝承文化保存会が中心となり、堀内盆踊り大会が堀内交流センターで開催されました。この盆踊り大会は約450年の歴史があり、町の指定無形文化財に登録されている伝統行事です。

お墓参りを終えた地域の方が大勢参加し、太鼓に合わせて「ホー ホツ ホツ」と掛け声をかけながら、大きな輪を作って踊りました。



自己記録への挑戦

8月8日、舟形小学校で水泳記録会が行われました。児童たちは個々の泳ぎのレベルに合わせてビート板を使ったり、50mに挑戦したりと日頃の練習の成果を発揮。自己記録更新を目指し、力の限り泳ぎました。

児童の一人は「途中で苦しくなって足を着いてしまったけど、来年はちゃんと息継ぎができるようにがんばりたい」と意気込みを話してくれました。



光生園夏祭り

8月6日、光生園の夏まつりが入所者とその家族の方や地区の方など、約500名の参加で開催され、踊りやカラオケ大会、模擬店などを楽しみました。また、今年のはじめて縄文神輿会(西堀町内会)の縄文神輿が担がれ、「どっこい、そりゃ、そりゃ、そりゃ～」の威勢のいい掛け声とともに会場を練り歩き、夏まつりをより一層盛り上げました。

フィナーレの花火では、夜空にたくさんの大きな花が咲き、笑顔あふれるまつりになりました。

このまつりは地域の方々をはじめ、たくさんのボランティアの方から支えられています。ありがとうございました。



戦没者を偲び、平和を祈念～戦没者追悼式～

8月6日、苛烈を極めた先の大戦から69年目を迎え、戦没者追悼式が舟形町中央公民館で行われ、舟形町に住む遺族らが参加。志半ばで亡くなった方を偲びました。

参加した遺族会の代表佐藤幸男さんは、慰霊棟に向かって今年あった出来事などを報告するとともに、戦没者の方々への追悼と世界平和を祈念する言葉を述べました。



親子で cooking!

8月6日、ふれあい育児の広場が保健センターで開催され、親子など11組23名が参加しました。今回のふれあい育児の広場は「親子クッキング」。

入園前の子どもたちとお母さんたちがカルツオーネ風一口ピザ作りを行いました。参加したお子さんのひとは「ママと一緒に料理できて楽しい。」と話していました。オーブンで焼き上がったカルツオーネを会の終わりに、みんなでおいしくいただきました。



サマーボランティア

この夏休みを利用して、舟形中学校の生徒たちが町内各地でサマーボランティアを行なっています。8月5日、舟形町中央公民館では午前中の涼しい時間帯に勉強会を開催し、小学生の夏休みの宿題の解き方などのお手伝いをしました。参加した小学生の一人は、「わからない言葉を国語辞典を使って、一人で調べられるようになった。夏休みの宿題も進んでうれしい。」と話してくれました。



夜の図書館で「夕涼み読書会」

8月4日、舟形小学校の児童と家族を対象に、舟形小学校図書館を開放しての夕涼み読書会が行われました。これは、旧小学校にあった本をすべて集め、探しやすく整理した自慢の図書館を家族で利用してもらおうと開催されたものです。児童と保護者あわせて100名を超える参加者が、夜の涼しい図書館で、ふなっ子による絵本の読み聞かせや親子での読書などを楽しみました。



猿羽根太鼓を伝承

8月4日、猿羽根太鼓後継者育成子ども教室が中央公民館で行われ、5名の小学生と親が参加。龍連山先生からプロの技を伝授されました。この教室は9月開催のふながた若鮎まつりでの出演に向け、計10回開催されます。



標高1000mを激走

8月3日、蔵王坊平(山形市)のクロスカントリーコースで行われた、第17回山形県ジュニア駅伝競走大会・第39回蔵王坊平クロスカントリー大会に、舟形小学校と舟形中学校から選抜された11名が出場しました。気温が30℃を超えるたいへん厳しいコンディションの中、選手たちは自己記録更新と襷を次につなげようと力走。力の限りを尽くしました。



長沢子ども遊々塾 ～小国川ゴムボート下り～

8月3日、長沢子ども遊々塾が、長沢交流センター裏の小国川で行われました。この塾は長沢親和会や婦人会、児童の保護者などの協力のもと、毎年行われています。今年は、「東麻布サマースクール」で夏の舟形町を満喫しようと訪れていた東麻布街づくり協議会のみなさん18名も参加。長沢地区の小学生29名と一緒にゴムボート下りなどの川遊びやお昼に振る舞われたおにぎりとお汁などを堪能。夏休みの思い出を作りました。



縄文炎祭 ～あゆみ～

8月2～3日、縄文の女神の丘で3回目となる「縄文炎祭」が開催されました。この「炎祭」は、地域おこし研究団体「Tmプロジェクト」fと青年団体「FITS」の構成員などからなる縄文炎祭実行委員会が主催しているものです。今回は、テーマ「あゆみ」のもと土器や土偶などの野焼きや縄文花火大会、勾玉作り体験コーナーなど様々な催しものが行われ、町内外から来た来場者は真夏の熱いイベントを楽しみました。



里帰り展 ～縄文の祈りと願い～

8月2～3日、「縄文の女神」里帰り展が舟形町中央公民館で開催されました。中央公民館2階に設けられた特設展示室に、青森県八戸市風張1遺跡から出土し、平成21年に国宝指定された「合掌土偶」(レプリカ)も一緒に展示。訪れた692名の来場者は縄文時代に創られた土偶の魅力に引き込まれていました。

今回の里帰り展のもう一つの目玉「3Dプリンター」が登場。それから出力されたミニ女神(本物の4分の1で高さ11.25cm)に色を塗る「塗り絵体験コーナー」も設けられ、塗り絵申込者は、思い思いの色を付け、ミニ女神を完成させていました。



里帰り展がまもなく開場

7月31日、「縄文の女神里帰り展」を二日後に控えた舟形町中央公民館では、里帰りする国宝「縄文の女神」を設置するための特設展示室の設営など、準備が進んでいます。テーマ“縄文の祈りと願い”と題し開催される「里帰り展」は、国宝「縄文の女神」と国宝「合唱土偶」(青森県八戸市)の展示や、3Dプリンターでのミニ女神づくり、全国ご当地土偶キャラグランプリなどの楽しい催しがいっぱいです。

皆さんのお越しをお待ちしております。



海洋性レクリエーション

7月30日、今年度2回目となるカヌー教室を福寿湖(福寿野)で開催し、2~6年生の児童6名が参加しました。子どもたちはパドルの操作に悪戦苦闘。クルクル回って進むことができない児童もいましたが、教室終盤には、水上を縦横無尽に移動することができるようになっていました。

8月7日には、酒田市で行われるマリンスポーツフェスティバルに参加する予定です。



Let's Swimming

7月29日、B&Gプールで水泳教室が開催されました。この教室は、泳ぎが苦手な小学生を対象としているもので、B&Gアドバンスインストラクターが、参加者の課題に合わせて丁寧に指導しています。計3回の教室で水泳技術のレベルアップを図ります。



頼りは「あなた」です

7月24日、保健センターで山形県立新庄病院小児科の仁木敬夫先生を講師に迎え、小児初期救急講習会を行いました。就園前のお子さんをもつ保護者の方など11名が参加。急病時の対応について、具体的に分かりやすく教えていただきました。

また、第2部では、最上広域市町村圏事務組合消防署南支署の森誠二救急救命士から、AEDを使っての小児の心肺蘇生法などを学びました。



夏を彩る花が咲き誇りました

沼澤千鶴子さん(舟形第4)の庭に植えてある、今にも電線に届きそうほど高く伸びた「ノウゼンカズラ」がたくさんの花を咲かせ、見ごろを迎えています。弦性の落葉樹で、トランペットに似た橙色の大きな美しい花を咲かせるこの花は、夏の暑い盛りに咲くことから、「夏の花」として親しまれています。



土器制作教室

7月23日、西ノ前遺跡活用協議会(会長伊藤清紀さん)が西堀公民館で土器づくり教室を開催しました。これは、8月2～3日の「第3回縄文炎祭」で野焼きする土器を制作するための教室です。参加者のひとは、「始めるとどんどんアイデアが湧いてきました。野焼きして完成したものを早く玄関先に飾りたい。」と話してくれました。縄文の女神を活かし、地域の活性化とコミュニティの向上につなげていきます。

▼土器・土偶制作に関する問い合わせ／

舟形焼わかあゆ薫風窯 ☎0233(32)0660

▼野焼きに関する問い合わせ／

舟形焼わかあゆ薫風窯 ☎0233(32)0660



自分の地域をきれいに

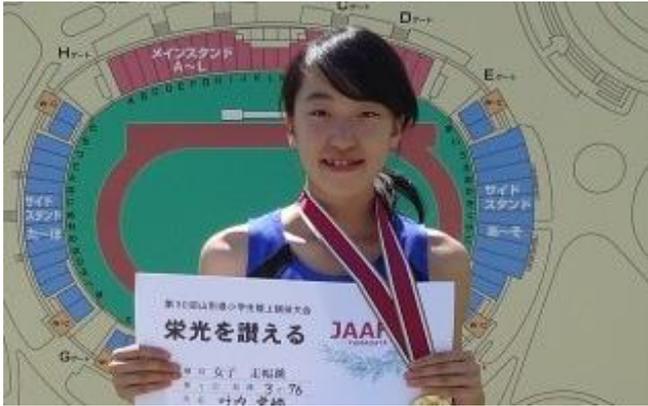
7月23日、西堀老人クラブ(会長鈴木勝治さん)の会員25名が、西ノ前アンダーのすず払いやゴミ拾いなどの清掃を行いました。これは、自分たちの住む地域をきれいにしようと毎年行なっているものです。西ノ前アンダーは、通学通勤のためにたくさんの人が通る道です。ポイ捨て禁止などのマナーを守りましょう。



夏の交通安全出発式

7月22日～8月21日までの31日間、明るいやまがた夏の県民運動が行われます。7月22日の舟形町役場前駐車場でのお出発式で、運動の重点を確認した後、キャラバン隊を編成し町内を巡回しました。

また、ほほえみ保育園児の鼓笛隊による演奏を披露し、出発式を盛り上げてくれました。



全国へジャンプ！

7月21日、山形県総合運動公園陸上競技場(天童市)で開催された第30回山形県小学生陸上競技大会に出場した舟形小学校6年の叶内愛織さん(舟形第3)が、走り幅跳び種目で見事優勝。8月23日に開催される第30回全国小学生陸上競技交流大会(神奈川県日産スタジアム)へ出場します。

全国でのさらなる活躍に期待します。



123個の絆

7月19日～21日の3日間、夏季児童交流が行われ、舟形小学校45名と世田谷区立代沢小学校53名と同区立山崎小学校70名の5年生が交流しました。「友情と絆 心と心でつなぐ 世界一の交流」をテーマに、町内の観光スポットを巡るウォークラリーや小国川での川遊び、ホームステイなどを楽しみました。

3日目のお別れ集会では、児童たちが涙を流しながら別れを惜しみ、世田谷区を訪れる秋の交流での再会を誓い合っていました。



500円記念貨幣引換え開始

「縄文の女神」をモチーフにした山形県版の地方自治法施行60周年記念貨幣引換えが、7月16日に県内の金融機関で開始されました。舟形郵便局前には、最も早い方は早朝5時から並び始め、営業開始時間の午前9時には10名ほどの列ができていました。配分枚数が限られていることもあり、一人一枚の引換え制限が設けられましたが、5分ほどで引換え終了となるなど、記念貨幣への関心の高さがわかります。

これからも、縄文の女神から目が離せません。



笑顔いっぱい「サマーフェスティバル」

7月11日、ほほえみ保育園でスマイル・サマーフェスティバルが開催されました。午前中は年長児が店員、年中児以下の園児たちがお客さんとなる「お店屋さんごっこ」を楽しみました。夜には年長児親子が踊りや花火を楽しみ、夏の夜の思い出をつくりました。



短冊に願いを込めて

7月7日、子育て支援センターみらいで、第2回ふれあい育児の広場が開催されました。この日は織姫と彦星が年に一度会うことができる「七夕」。17組の参加者は、「友だちがたくさんできますように」や「アンパンマンのように強くなりたい」などの願いごとを書いた短冊を竹飾りにつるしました。

この日は梅雨であいにくの曇り空。織姫と彦星は会うことができたのでしょうか…。



大きなプールで水遊び！

舟形ほほえみ保育園の園庭に設置された2つの大きなプール。気温が上がってきた午前11時頃から、園児たちはそのプールで元気いっぱい水遊びを楽しんでいます。中には、まだ水が怖い園児もいるため、楽しみながら水に慣れられるようにと、簡単な遊びを交えてプール遊びを行ないました。



枝肉共励会

7月7日、最上地域牛枝肉共励会が開催され、35頭の出品があった中、森幸男さん(西又)の肉牛が優良賞に入選。月齢33ヵ月で出荷された枝肉は、重量、歩留り、肉質とも非常に良く、最高ランクのA-5等級でした。今後も良質な山形牛の生産に期待します。



ティーボール県大会

7月6日、山形市総合スポーツセンター多目的広場で、第17回全国小学生ティーボール選手権大会山形県予選会が開催され、32チームが出場。舟形ビッグサンダーズは準決勝で敗退。2年連続全国大会出場は果たせなかったものの、ティーボールの楽しさを実感しました。



自分の地域は自分で守る

7月6日、万が一の火災発生に際し、消防ポンプの迅速なる出動と火災現場の現状に応じた、適切な火災防御技術の訓練や共同精神の養成と士気の高揚などを目的とした夏季非常召集訓練が福寿野地区(第5分団管轄)で行われました。福寿野公民館付近の住宅火災で延焼する危険が大であることを想定とした訓練には、福寿野町内会や新庄警察署などが参加しました。



ベストパートナーと出会いたい

7月6日、婚活事業「ベストパートナーに出会いたい」が農林漁業体験実習館で開催されました。NPO法人東北エコリサイクルネットワーク研究会(理事長永井宏幸さん)が企画・運営して行なわれたものです。参加した男女19名が、決められた時間内に1対1で話ができるお見合い回転寿司や立食パーティを行ないました。その中で、気の合う8組の男女が気の合うパートナーに出会うことができました。



バレーボール県大会

7月5日、山形市総合スポーツセンターで、ファミリーマートカップ第34回全国バレーボール小学生大会山形県大会が開催。最北地区予選を勝ち抜いた舟形クローバーズは初戦で鶴岡地区第1代表の楢引女子と対戦し、セットカウント1-2で惜敗。今後の活躍に期待します。



子どもたちに絵本のすばらしさを

7月2日、舟形町中央公民館で平成26年度読み聞かせ連絡協議会総会が行われ、会員24名が参加。平成26年度事業計画などを協議しました。町には5つのサークルがあり、保・小・中への絵本の読み聞かせ訪問や絵本講演会などを開催しています。

Old Kyu News(平成26年7月)



太公望が集う

7月1日、小国川の鮎釣りが解禁されました。この日は前日降った雨の影響で川の水量が増し、厳しいコンディションとなりましたが、待ちわびた大勢の太公望らが竿を出し、友釣りの“あたり”と“引き”を楽しみました。釣れた鮎は平均15~17cmで、20cmを超える良型もありました。

小国川では、7月8日のダイワ鮎マスターズ南東北大会を皮切りに、8月上旬まで各種鮎釣り大会が開催されます。

▼問い合わせ／小国川漁業協同組合 ☎(32)2892

Old Kyu News(平成26年6月)



「早寝早起き朝ごはん」

6月30日、舟形小学校で教育講演会が行われ、4年生以上の児童141名とその保護者らが参加しました。

講師は、東海大学体育学部教授で医学博士の小澤治夫氏。「学力・体力・気力の向上は生活習慣の立て直しから」と題し、食習慣などの生活習慣が子どもたちに与える影響の大きさを、活躍している有名選手を例に挙げて紹介。「早寝早起き朝ごはん」や「外遊び」などの正しい生活習慣を身に付けることの重要性を訴えました。



迅速、正確に

6月29日、火災消火を想定した基本動作を確認する町消防ポンプ操法大会がアユパークで行われ、21の部が出場しました。雨をものともせず、鍛え抜かれた技を存分に発揮しました。

結果は次のとおりです。

【大会結果】

第1位 第5分団第9部(富田第1・2)

第2位 第4分団第7部(紫山)

第3位 第2分団第2部(長沢第1・2・3)

第4位 第1分団第10部(幅)

第5位 第4分団第18部(大平)



清流小国川を守る

6月29日の早朝5時半から、河川一斉清掃が行われ子ども10名を含む1,094名が参加しました。7月1日の鮎釣り解禁日を前に、きれいな川にしようと、小国川などの地域の河川を中心に、3tのゴミを収集。山や川の自然がきれいなままでいられるように、ポイ捨て禁止などのルールやマナーを守りましょう。



大人塾パートⅢ

6月24日、舟形町中央公民館で舟形大人塾パートⅢの開講式が行われました。この塾は大人が学ぶ場として、今年で3年目を迎えるもので、「舟形町の産業と地域のあり方を通して町の将来とこれからの生き方を考える」をテーマに掲げ、年8回開催されます。

開講式の今回は、山形新聞最北総支社長を講師に迎え、『「一流の田舎」を目指そう!』と題した講演会を開催。塾生25名が地域の指導者として必要な知識を身につけようと、講話を熱心に聞いていました



さなぶり交流会

6月22日、長沢交流センターで長沢地区さなぶり交流会が行われ、約200名が参加。田植え後の「さなぶり」のひとつを楽しみました。

これは、地域内の交流機会を増やそうと、長沢地区の町内会長さん方が中心となって長沢地区さなぶり交流会実行委員会(委員長 伊藤欽一さん)を設立し、今回初めて開催されたものです。

グラウンドゴルフや長沢小唄の歌い手の大場いたるさんの民謡ショーで、地域の交流を深めました。



“チーム舟中”が躍動

6月21～22日、28～29日、最上管内各地で最上地区中学総体が行われ、「チーム舟中」は日々の努力の成果を発揮しました。野球・テニス・陸上・相撲などの団体や個人で県大会への出場を決めました。どの競技も懸命にプレーする姿は、応援に駆け付けた地域の人に感動を与えました。県大会でのさらなる活躍に期待します。



笹が実をつけました！

叶内美喜男さん(長者原)の畑に植えている笹竹が実をつけました。この笹竹の花は、60～100年に1度咲くため、センチュリーフラワーとも呼ばれているそうで、その花に実がなったものです。収穫した実を乾燥させ、粉にして団子を作る予定です。



ふなしん杯GG大会

6月16日、ふなしん杯グラウンドゴルフ大会があゆっこ村特設コースで開催されました。舟形町グラウンドゴルフ協会の会員ら70名が参加。日頃の練習の成果を発揮しようと一打一打に集中し、優勝を目指しました。

表彰式では、上位入賞者の他、飛び賞やブービー賞、今年から参加した選手の中で一番成績の良かった選手に新人賞が贈られるなど、たくさんの方々が表彰を受け、笑顔あふれる大会となりました。



もがみ南部商工会青年部主催交流野球大会

6月15日、第1回もがみ南部商工会青年部主催交流野球大会が大蔵球場と舟形町農村環境改善センターグラウンドの2会場で開催されました。この大会は、もがみ南部商工会青年部が地域振興事業と、野球を通じた子どもたちの健全育成を目的に最上郡内の野球スポーツ少年団8チームを招待して今年始めて開催されたものです。選手たちは、この大会の初優勝を目指し、日頃の練習の成果を発揮。伸び伸びプレーしていました。

成績は次のとおりです。

優勝 もがみ少年野球クラブ

準優勝 戸沢ファイターズ

第3位 真室川少年ジャイアンツ

〃 舟形ビッグサンダーズ



農業用廃プラスチック回収

6月15日、町内4カ所で農業用使用済プラスチック類回収事業が行われました。これは、農業生産活動で使用したマルチシートや苗箱などの、使用しなくなったプラスチック類(産業廃棄物)を適正に処理するために、行政が回収するもので、今年3.7トン回収しました。



舟形の玄関口をきれいに

6月15日、沖の原町内会(会長稲毛巧さん)と青少年育成推進委員(委員長沼澤 啓さん)とボランティアサークル「ふなっこ」(代表佐藤愛佳さん)の35人が沖の原インターチェンジ付近を中心に草刈とゴミ拾いを行いました。

また、同日舟形駅の清掃も行いました。舟形町の玄関を清掃したことで、来町したお客さんなど、利用者を気持ちよく迎えられると思います。ありがとうございました。



親子で交流

6月13日、保健センターで今年度初めての「ふれあい育児の広場」が開催されました。今回は保育所入園前の親子など19組38名が参加。手遊びや絵本の読み聞かせなどをして、親子の交流はもちろん、子ども・保護者同士での交流を深めました。今年も季節のイベントなど年間15回、事業を予定しています。

なお、次回は7月7日に「七夕の飾り付け」を行う予定です。



校内マラソン記録会

6月10日、校内マラソン記録会が舟形小学校で行われました。児童たちは各学年で設定された距離(1・2年生は男女とも800m、3～6年生は1,000m)を、自己新記録の更新を目指し力走。沿道では、家族や地域の方からのたくさん声援が贈られていました。



山形県をデザインしよう!

6月9日、舟形小学校6年生49名が、造幣局デザイナーの松岡秀麿さんを先生に招いて「造幣局1日デザイン教室」を行いました。これは、「縄文の女神」がモチーフとなった地方自治法施行60周年記念貨幣(山形県)の製造・販売を記念して、児童たちに貨幣に親しんでもらおうと開催されたものです。教室で児童たちは、レイアウトやバランスなど上手なデザインの仕方を教わった後、「山形県」をモチーフに直径26.5ミリの円の中に、各々アイデアをデザインしました。



憧れの車が大集合

6月8日、小国川河川公園アユパークで、町制施行60周年記念事業第3回ヒストリックカーミーティングin舟形が開催されました。

会場には、ロールス・ロイスやフェラーリ、ポルシェなど世界を代表する名車の他、世界に数台しかないたいへん珍しい光岡自動車の「大蛇(オロチ)」も登場し、約15,000人の来場者を魅了しました。

また、同時開催された舟形町物産展では、焼き鮎ややまがた地鶏、そばなどの舟形の特産品やおいしい郷土料理のお店が多数出店。来場者は豊かな舟形の味に舌鼓を打ちました。



県No1

6月7日、山形市総合スポーツセンター(山形市)で開催された第14回山形県少年健全育成柔道大会に出場した舟形小学校6年の溝口葵さん(長者原)が、6年女子45kg超級で見事優勝を果たしました。8月17日に開催される第11回全国小学生学年別柔道大会(盛岡市)へ出場します。

全国でのさらなる活躍に期待です。



病送り

6月7日、長沢地区で病送りが行われました。この伝統行事は、田植え後の「さなぶり」の時期に青年団が中心となっているものです。地区の方々は、藁で作った“つと”にご飯などを入れ、藁で作った左右非対称の人形の所に供え付けられている袋に入れます。その人形と“つと”が入った袋を子どもたちが青年団の叩く太鼓に合わせひっぱり、町内を練り歩き地区内の無病息災を祈願しました。

この病送りは、町内各地で受け継がれていて、内山・紫山でも同日、舟形地区は14日に行なわれました。



商工会青年部ボランティア活動

6月7日、もがみ南部商工会青年部舟形支部(部長吉田達也さん)の会員11名が昨年に引き続き、舟形小学校敷地内のライン引きなどをボランティアで行いました。

この活動は、6月10日の「商工会の日」に合わせ、全国の商工会青年部が一斉に慈善事業を行おうと実施されたものです。



飲酒運転をなくそう！

6月6日、飲酒運転撲滅強化旬間(6月1日～10日)に合わせ、舟形町交通安全対策協議会(会長沼澤淳さん)が、舟形橋パーキングで「飲酒運転撲滅立哨運動」を行いました。飲酒運転を今後絶対「出さない・させない・許さない」を合言葉に、飲酒運転撲滅を呼びかけました。



稚鮎放流

6月5日、舟形小学校2年生43名が、小国川漁業協同組合(組合長高橋光明さん)が管理する中間育成施設「小国川漁協稚鮎センター」で5～7cm(約7g)ほどに育った稚鮎約2,000匹を小国川に放流しました。児童たちは川の中を泳いでいく稚鮎に「大きく育ってね！」など手を振りながら声をかけていました。

1日で1gずつ成長する鮎。5月のゴールデンウィーク過ぎあたりから遡上が確認されている天然鮎と共に、7月1日の鮎釣り解禁の日までに大きく成長し、太公望たちを楽しませてくれることでしょう。



小体連陸上競技大会

6月4日、舟形町・大蔵村小体連陸上競技大会が大蔵中学校グラウンドで開催されました。これは、平成25年度に舟形町内の4つの小学校が1校に統合され、町内で他校と競い合う機会がなくなったため、大蔵村立大蔵小学校と合同での開催しているもので、今年で2回目です。

大会では両校の5・6年生が、100mなどのトラック競技と、フットボール投げなどのフィールド競技で自己記録更新を目指し競い合いました。



町を明るくきれいにしよう！

舟形町青少年育成町民会議(会長伊藤準悦さん)が毎年主催している「花いっぱい運動」が行われました。6月1日には、「縄文の女神」モニュメント広場がある西堀町内会では、早朝作業にもかかわらず、地域の方々と子どもたち約100名が参加しました。

この運動は、花を植えて住んでいる地区をきれいな明るい街にする役割のほか、共同作業を通して、子どもたちに地域づくりに対する関心を持ってもらい、公共心、奉仕する心を育てる事を目的としています。

Old Kyu News(平成26年6月)



薬師の森オカリナコンサート

6月1日、ブナ林が広がる薬師の森でオカリナコンサートが開催されました。「マザーツリー」という呼び名で親しまれている樹齢約200年となるブナの大木の下で行われたコンサートでは、オカリナ奏者の小田原朝雄さんが「翼をください」など10曲を演奏しました。

Old Kyu News(平成26年5月)



Good morning everyone!

5月30日、舟形中学校で、日本の英語教育の第一人者で言語文化教育スペシャリストの阿部フォード恵子先生を迎え、英語の授業を行いました。この日は英語の授業を本格的に始めたばかりの1年生33名の生徒たちが、ロックバンド「ザ・ビートルズ」などの曲を聞いて歌詞を聞き取ったり、似たような発音の英単語を聞いて、ノートに書き写す課題などに取り組みました。



人権の花を咲かせよう!

5月27日、人権啓発活動として「人権の花」運動が舟形中学校で行われ、全校生徒114名と3名の人権擁護委員の方がサルビアなどの花の苗270株をプランター100基に植えました。

この運動は、花の栽培を通し命の大切さや相手を思いやる心を育てようと取り組んでいる活動です。



舟形小学校田植え授業

5月27日、舟形小学校の学校田で同校の5年生が手植えによる田植え授業を行いました。校外生活委員の保護者の方が木枠を使って目印を付けたところに、「はえぬき」の苗を泥んこになりながら、植え付けました。「まっすぐ植えるのが難しかったけど、楽しかったです。」と児童の一人は話しました。



舟形小学校運動会

5月25日、第2回舟形小学校運動会が同校グラウンドで行われました。「声出せ・汗出せ・元気出せ」のスローガンの下、紅白に分かれた275名の全校児童が、組ごと優勝を目指して力を集結。家族や地域のみなさんからの大きな声援を力に変え、一生懸命がんばりました。



松橋わらび園オープン

5月25日、松橋わらび園がオープンしました。この日は、開園を待ちわびた220名が、午前8時の入場開始時間から2時間、わらび採りを楽しみました。

▼開園／6月25日までの予定

毎週水・日曜日午前8時～10時(完全予約制)

▼予約・問い合わせ／松橋わらび園管理組合

☎0233(35)2665



県協議会会長へ

5月22日、平成26年度山形県食生活改善推進協議会の総会で舟形町食生活改善推進協議会会長の沼澤紀美子さんが、県協議会の会長に選任されました。

今後は、県と町の食生活改善の推進のためご尽力いただくこととなります。よろしくお願いいたします。



舟形Jr.ランニングクラブ始動

5月21日、舟形Jr.ランニングクラブがスタートしました。初日となるこの日はあいにくの雨となり、B&G海洋センターでの練習となりました。子どもたちの体力・走力の向上を目指して行なわれるこのクラブは、毎週月・水の夜に行われます。



五橋中「まるごと自然体験」

5月14～15日、仙台市立五橋中学校の2年生227名が、野外活動で舟形町を訪れました。

舟形町での活動初日は、福祉施設や公園などで奉仕活動を行なったほか、福寿野地区と富田地区にあるレンタル農園で田植え体験を行いました。

この日は81世帯の民泊先で舟形のお父さん、お母さんにあたたかく迎えていただき、各家庭で交流し楽しい思い出を作りました。



古文書講座「無言抄を読む」

5月12日、古文書講座「無言抄を読む」が生涯学習センターで行われました。「無言抄」は江戸時代(慶長8年)に書かれ、連歌の教本として使用されていた古文書です。1回目となる今回は、和綴じでの製本作業を行いました。この講座は毎月第2・4月曜日に行われます。



舟形町をデザインしよう!

5月10日、舟形若あゆ温泉で消しゴムはんこ教室が行われ、30名を超える方が参加しました。鮎や縄文の女神といった、舟形町から連想するものを題材としたイラストや文字などを消しゴムに写し、彫刻刀等を使って彫りあげました。完成したはんこは、若あゆ温泉の新しい包装紙のデザインとして使われます。

「力が要らず簡単に彫れて楽しい。自分で作ったはんこがどんな包装紙になるのか楽しみです。」と参加者の一人は話してくれました。



被災者支援農園

5月10日、沖の原の第二原田山にある被災地農園(佐藤常勇さん)の畑12aに、キタアカリなどの種いもを植え付けました。8月上旬には収穫し、東日本大震災で被災された方に届ける予定です。只今、参加を希望するボランティアを募集しています。



舟形の婚活を応援

5月8日、フナコン実行委員会が開催され、21名の実行委員のみなさんと舟形町結婚サポートセンターの職員3名、事務局としてまちづくり課職員2名が参加しました。実行委員会の名称と役員選出、今年度実施する婚活イベントについて意見を出し合いました。



春の消防大演習

5月5日、平成25年度春季消防演習が開催されました。この演習は、消防精神と団員の士気の高揚を図り、災害に備えて実力のある消防力を確立することを目的に毎年行われるもので、舟形消防団員や関係者ら約450名が参加しました。舟形本町通りでは、分列行進と纏太鼓、幼年消防クラブによる宣誓などが行われ、アユパークでは小・中隊訓練やポンプ操法演習などで、日頃の鍛練の成果を披露しました。



元気を発信！さくらんぼ神輿

5月3～6日、旧富長小学校のランチルームで「さくらんぼ神輿」の公開製作が行われ、30名の方がボランティアで参加しました。このさくらんぼ神輿は、東北芸術工科大学が製作に携わっているもので、6月2～21日に山形市七日町大通りで開催される、日本一さくらんぼ祭りでお披露目されます。祭り当日は、製作に参加したボランティアの方々も神輿を担ぎます。どうぞご覧ください。



GGオープニング大会

5月2日、舟形町グラウンドゴルフ協会オープニング大会があゆっこ村特設コースで開催。生涯スポーツの振興、参加者相互の交流を深めることを目的に協会員70名が参加しました。

雪解けで芝もまだ短く硬いコースコンディションの中、八鍬裕美さん(紫山)が、2つのホールインワンを達成するなどし、見事に優勝しました。今後も継続して大会が行われる予定です。



公民館長会議

5月1日、公民館長会議が中央公民館で開催されました。その地区の住民が集い地域の活動拠点としての役割を果たす地区公民館。その運営と施設整備などについて話し合いました。



交通ルールを守ろう！

5月1日、ふながた小学校の交通安全教室が行われました。今回の交通安全教室では、舟形町の駐在さん方から、子どもたちの生活には欠かすことができない自転車を安全に乗るための、日頃の点検方法や交差点の渡り方などを教わりました。



ギャラリーとして活用

4月30日、舟形町観光物産センターめがみ(舟形駅)の展示スペースに、舟形小学校1年生が描いた作品が展示され、訪れた方々の心を和ませています。この施設は、観光情報の発信、特産品の販売、町民のコミュニティの場として利用されるだけでなく、こうしたギャラリーとしての役割も担っています。

今後も町民のみなさんの作品を展示していく予定です。みなさんのお越しをお待ちしています。



満開の桜の下で大運動会

4月29日、舟形中学校運動会が行われました。勝ち負けに関係なく一人ひとりが輝き、その輝きが広がってほしいという想いが込められたテーマは「輝～我らのかがやき 今ここから～」。青と赤の両組は満開の桜の下、熱い戦いを繰り広げました。



町をきれいに「クリーン作戦」

4月28日、舟形中学校の1・2年生のみなさんが「町内クリーン作戦」を行いました。これは、自分たちが住んでいる町をきれいにしようという取り組みで、今年アユパークから舟形中学校までの河川敷や道路沿いを中心に、ごみ拾いを行いました。



激走！山口選手

4月27～29日、第59回山形県縦断易断競走大会が行われ、舟形町からは山口太陽選手(町教委)が出場し、1区(17.1km)と11区(9.4km)を走りました。

2日目のスタートとなる11区(新庄～舟形間)では、トップでタスキをつなぐ区間賞の走りで、新庄最上チーム総合7位の原動力となりました。



町内会長会議

4月17日、町内会長会議と町内会長連絡協議会が舟形町中央公民館で開催され、奥山知雄町長から町内長を代表して伊藤準悦(幅町内会長)へ委嘱状が手渡されました。

今年1年、どうぞよろしくお願いいたします。



こぶしの花が見ごろです

一の関大橋から舟形若あゆ温泉までの沿道に植えられたこぶしの木が、白い花をつけ見ごろを迎えています。「こぶし」は、4月から5月にかけて純白の花を咲かせる木で、花は舟形町の花として指定されています。

舟形若あゆ温泉のお湯と、平成25年3月に県の眺望景観資産に指定された同温泉のテラスから眺める景観とともに、こぶしの道をお楽しみください。



「和楽」平成26年度の活動を開始

4月15日、長沢和紙保存会「和楽」の平成26年度総会が中央公民館で行われました。会では規約の見直しや今年度の事業計画などについて協議した他、長沢和紙の商品化に向けてのアイデアを出し合いました。



町をきれいに

4月15日、平成26年度衛生組合連合会総会が中央公民館で開催され、各町内会の衛生組合長に奥山町長から清掃監視指導員の辞令が手渡されました。衛生組合長は、ごみの分別収集の促進指導や不法投棄の防止、清掃指導など、みなさんの住み良い生活環境をつくれます。1年間よろしくお願いいたします。



ドライブマナーキャンペーン

4月15日、春の交通安全県民運動期間の最終日となるこの日に、最上地区交通安全協会舟形支部と舟形町交通安全母の会などが、舟形橋パーキングでドライブマナーキャンペーンを実施。チラシや記念品などを手渡し、交通安全の啓発を行いました。



消防キャラバン隊出動

4月13日、春の火災予防運動に合わせ、防火キャラバン隊が町内を巡回し、火災の予防を呼びかけました。
みなさんで火の用心に努めましょう。

標語【もういいかい 火を消すまでは まあただよ】



地域交流サロン「カレーの会」2周年記念

4月13日、地域交流サロン「カレーの会」の創立2周年記念事業が町生涯学習センターで行われ、町内の方約100名が参加。新庄べにばな歌謡サークルのみなさんや舟形ヨサコイ「紅」、丹倫太郎さん(金山町)が歌や踊りなどを披露し、会の節目を盛り上げました。

また、参加者は振る舞われたカレーライスと筍汁などに舌鼓を打ちました。会場は、カレーのいい匂いと笑顔でいっぱいになりました。



「スポーツ少年団」新年度の活動をスタート

4月13日、舟形町スポーツ少年団結団式がB&G海洋センターで行われ、7団体87名が参加しました。これは、スポーツ少年団員としての意識の高揚を図り、これからの活動に対する意欲を喚起し、各団員や指導者の交流と団結を図るために、毎年この時期に開催しているものです。



舟形小学校入学式

4月9日、第2回舟形小学校入学式が舟形小学校で行われました。44名の新入生は自分の名前が呼ばれると元気いっぱい大きな声で返事をしていました。式の中で6年生の溝口葵さんは「学校は四季を通していろいろな楽しい行事があります。わからないことがあったらお兄さんお姉さんに聞いて、一緒に楽しい学校生活を送りましょう。」と歓迎の言葉を話しました。



舟形中学校入学式

4月8日、舟形中学校で入学式が行われ33名の新入生が入学しました。「中学での生活は今までの自分を変えるチャンス。いろんなことにチャレンジし、困難を乗り越える楽しさも学び、自分を高めていきましょう。」と荒井祐也校長が式辞を述べました。



ほほえみ保育園入園式

4月7日、第7回ほほえみ保育園の入園式を行いました。希望にあふれる33名の新入園児を迎え、計148名(0~5歳児)でのスタートとなりました。「お友達や先生といつも仲良く、元気に保育園に来てください。元気いっぱい笑顔いっぱい友達いっぱいの園にしよう!」と佐藤栄起園長がお話しました。



交通安全を祈願して

4月6日から15日は、春の交通安全県民運動実施期間です。それに先立って4月4日、役場前で出発式が行われました。春は新入児童などの通学が始まる時期です。ルールを守り、交通事故を防止しましょう。
《交通安全県民運動「やさしさをのせて走ろう山形路」》



内山おひなさま回り

旧暦の桃の節句に当たる4月3日、内山町内会で、子どもたちがおひなさまを飾る家庭を見て回る「おひなさま回り」が行われました。それぞれの家庭で飾っている昔ながらのおひなさまや豪華なおひなさまが出迎えてくれました。

また、子どもたちにはおひなさまにお供えているお菓子などをもらう楽しみもあります。この習わしは、地域ぐるみで子育てを行うこの地域にとって大切な役割の一つを果たしています。



婚活をバックアップ

4月1日、町では舟形町内に住む結婚したい方を応援する舟形町結婚サポートセンター(センター長 高橋剛さん)を開設しました。当センターは「清流荘」に事務室を置き、3人体制で会員登録した方への出会いの場の提供などの「婚活」をバックアップします。

登録される方を募集します。お気軽にご相談ください。

▼申込み・問い合わせ／舟形町結婚サポートセンター ☎
(32)1152